



ライフサイエンス部門 事業説明会

2023年9月29日

株式会社トクヤマ

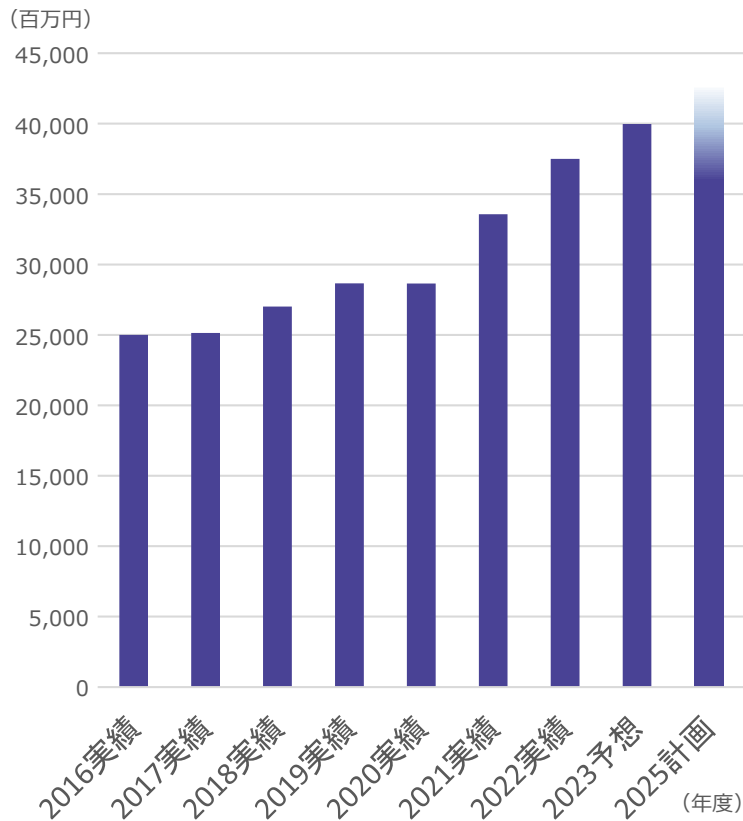
本日の ご説明内容

- ① ライフサイエンス事業分野について
- ② 歯科器材について
- ③ メガネレンズ材料について
- ④ 原薬・中間体について
- ⑤ 技術トピックス
 - ・ 放射線防護材料
 - ・ 化粧品材料

①

ライフサイエンス事業分野について

売上高推移（2016年度～）

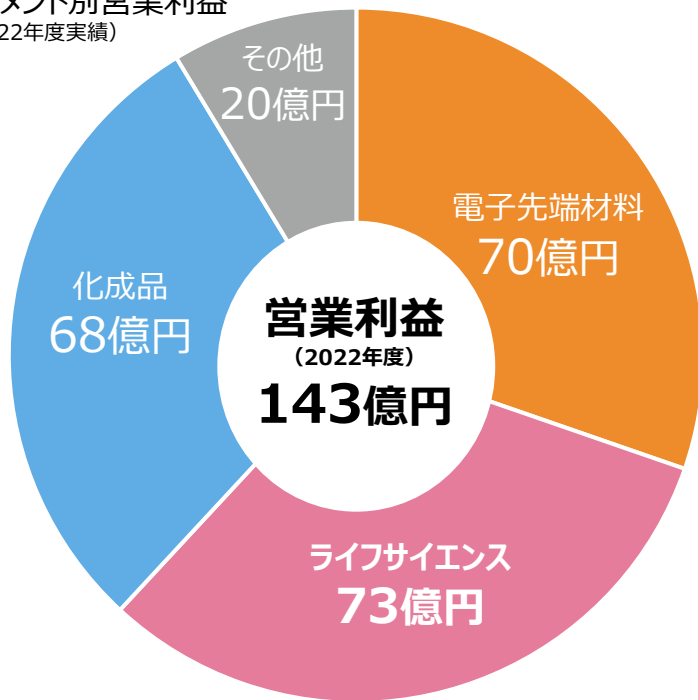


事業領域

- ▶ 原薬・中間体
- ▶ メガネレンズ材料
- ▶ NF（微多孔質フィルム）
- ▶ ヘルスケア材料
- ▶ 歯科器材（株式会社トクヤマデンタル）
- ▶ 医療診断システム（株式会社エイアンドティー）

特有技術で差別化可能な領域〔眼・歯・診断〕での ニッチトップ獲得

セグメント別営業利益
(2022年度実績)



セグメント間 消去・全社費用 …△53億円
環境事業 ……0億円
セメント …△37億円

重点施策

- ▶ 歯科器材海外市場シェアのさらなる向上のため、販売体制強化と生産能力の増強加速
- ▶ フォトクロミック海外市場の一層の拡大のため、新製品開発と販売活動を強化
- ▶ 医療診断システム事業の強化

②

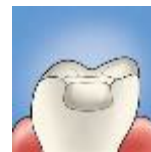
歯科器材について

2022年度の実績

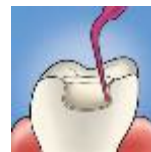
- ▶ (株)トクヤマデンタル鹿島工場新設備 (MD-7) の商業運転を2022年10月に開始
- ▶ 海外向けの出荷増によるコンポジットレジンの世界展開と、欧米と新興国向け販売増
- ▶ 歯冠用ブロックの販売増

今後の計画・投資

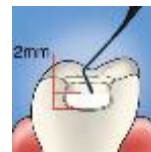
- ▶ 海外市場シェアのさらなる向上のため、販売体制強化
- ▶ 設備増設による供給体制の増強を加速 (新設備MD-8の建設)



① 窩洞形成



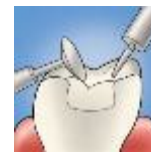
② ボンディング塗布



③ オムニコロマ充填



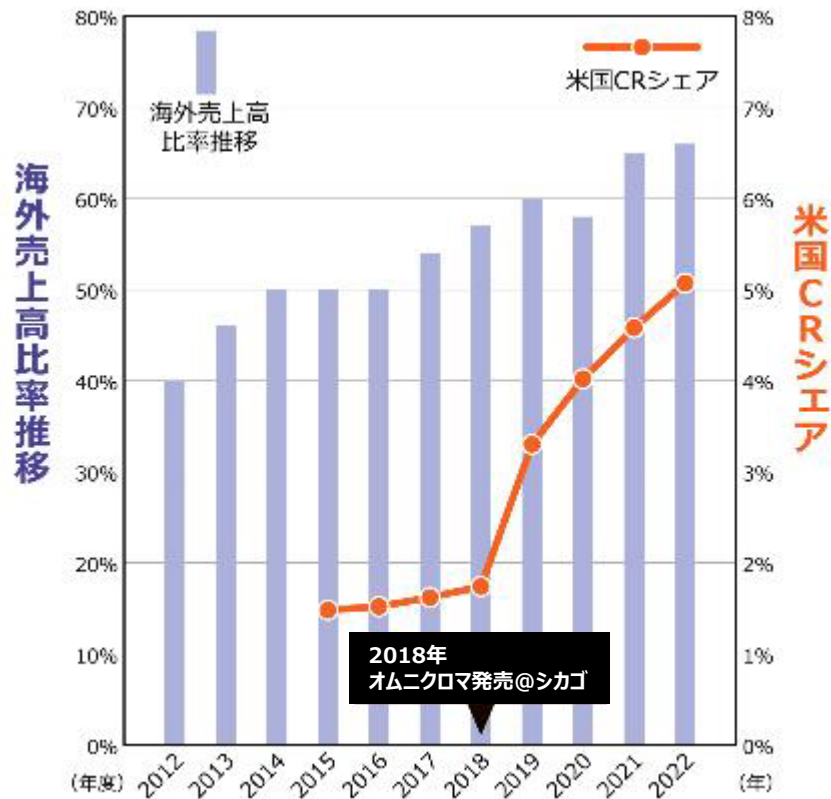
④ 光照射



⑤ 仕上げ・研磨・完成



トクヤマデンタル



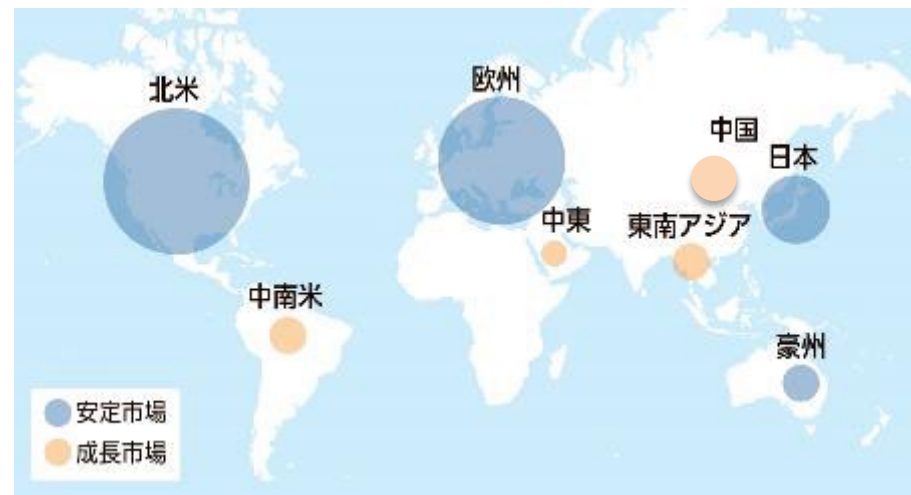
米国CRシェア/出典：SDM Northcoast Data

オムニクロマを中心とした拡販戦略

- ▶ 最重点市場の米国で顧客の獲得が着実に進行、CR市場における品目別シェアで3位に躍進
- ▶ 展示会・オンラインマーケティング・サンプリングを駆使し、さらなる販促強化を図る
- ▶ 中東、ブラジル販売についても拡大傾向

国名	CRシェア/%	人口/億人	USD GDP/人
イタリア	16	0.59	34,113
フランス	10	0.66	42,636
ドイツ	8	0.84	48,636
ポーランド	8	0.38	18,280
米国	5	3.34	76,348
ブラジル	5	2.14	8,995
インド	5	14.23	2,379
中国	0	14.13	12,814
インドネシア	N.D.	2.75	4,798
日本	14	1.25	33,822

世界の歯科器材の市場規模イメージ

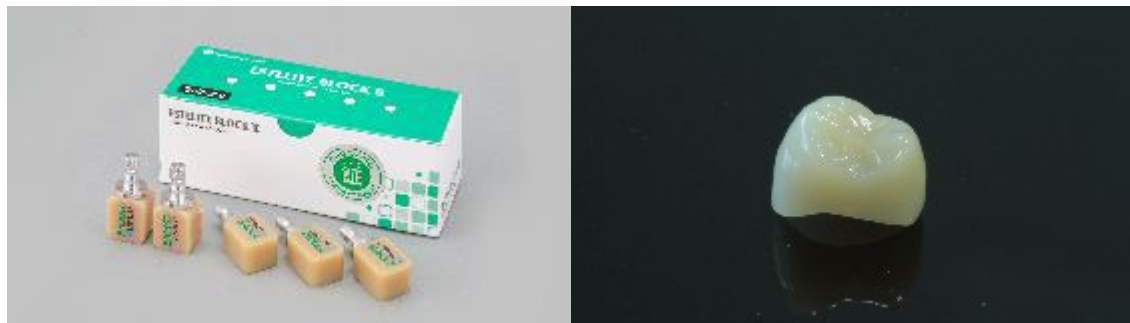


円の大きさ：市場規模 色：成長性

※2022年IMFデータより
 ※CRシェアは当社推定値

デジタル関連製品として 新たな製品カテゴリーの投入

- ▶ 歯冠用ブロックの国内需要が急速に拡大（保険適用の開始）
- ▶ 供給不足が解消し、国内販売は急速に拡大中、今後技工所を中心に更なる顧客の拡大
- ▶ 海外への販売開始で更なる拡販
- ▶ 歯科用3Dプリンティング
歯科診療所や技工所のワークフローを大幅に改善し、患者のチェアタイムを短縮。市場は成長し続けており、3Dプリンター樹脂等の関連材料を開発中





- ▶ 茨城県神栖市（トクヤマ鹿島工場内）
地上2階建て、延べ床面積6,000㎡
- ▶ 2023年4月着工、
2024年10月稼働予定
- ▶ コンポジットレジン、
CAD/CAM冠用レジンブロックの生産
- ▶ 完成後は製品の混練・充填・梱包などの
生産能力を約2倍に増強



Tokuyama Dental America (米国、カナダ)

最重要地域 CRシェア 5.7% ⇒ 10%超へ
デジタルマーケティングの強化

Tokuyama Dental Deutschland

Tokuyama Dental Italy (欧州、トルコ、アフリカ)

ブラジル、中南米

ホワイトニング／CRベニアでの拡販

中東、インド

人口世界No.1市場への本格販売開始

中国

将来布石のための市場調査

アフリカ

2023年度後半から本格的に参入検討

③

メガネレンズ材料について



2022年度の実績

- ▶メガネレンズ用フォトクロミック材料の性能の高さによる世界シェアの確実な高まり

今後の計画

- ▶次世代フォトクロミック材料の開発による更なる性能の差別化
- ▶新規製品ラインナップへの展開（シート、デジタル対応レンズ材料等）



フotokロミック色素 および
マトリックス〔ポリマー〕の分子設計

色素のパフォーマンスを
最大限にする「付与技術」

少量多品種を生産可能にする
製造技術、品質管理

様々な
顧客ニーズへの
対応

④

原薬・中間体について



2022年度の実績

- ▶ ジェネリック医薬品向けの販売数量が堅調に推移、増益
- ▶ ジェネリック医薬品メーカーの在庫積み増しも影響
- ▶ 当社の品質管理が評価

今後の計画

- ▶ 安定供給に向けたサプライチェーンの構築
- ▶ 希少性の高い原薬開発と競争力の強化

有機合成技術を
基盤とした信頼性の高い
供給体制

取引先の期待、
要望を満足するコスト、
品質を提供

国内に加えインド・中国とも
CDMOを含めた
提携関係を強化

(日本国内では一部出資)

希少性の高い
ジェネリック原薬の開発



鹿島工場

⑤

技術トピックス

放射線防護材料
化粧品材料〔エアリカ®〕

【展開】 柔らかいラバー状のシート型防護材の開発も行っており、
医療現場等に向けて広く用途展開

全面防塵マスク組み込み型〔インナーシールド〕



ラバーシート状防護材



【概要】

福島第一原子力発電所における廃炉作業に用いる眼の水晶体保護のための鉛フリーの防護材開発を、東京電力HD(株)様のご監修のもと行っています。単独で用いるゴーグルタイプや、防塵全面マスクに組み合わせて用いるシールド、もしくは窓材等の利用を想定したラバー状シートの検討を行っています。

120kVのX線に対する防護性は 0.10 ± 0.02 mmPb/2.5mm $\sim 0.12 \pm 0.02$ mmPb/2.5 mm*)
(2.5 mm厚の材料が0.1 ~ 0.12 mmの鉛箔に相当)程度ですが、最終的な放射線防護能や形状・スペックについては現在調整中です。

*) 東京都産業技術研究センター殿による測定結果

放射線防護ゴーグル



Type A (軽量型)



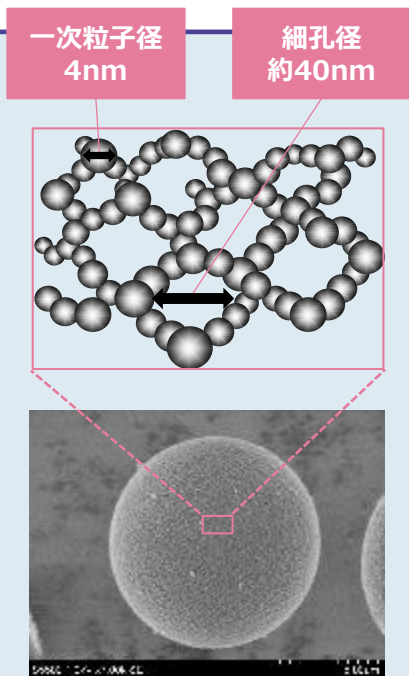
Type B (矯正眼鏡併用型)



自社の特許技術により製造される、球状シリカエアロゲルパウダー。
化粧品材料として、有用な特性を有している。

製品特長

- ▶ 空隙率が高い
- ▶ 真球状で揃った粒度
- ▶ 10 μ の球状粒子
- ▶ 天然由来成分など

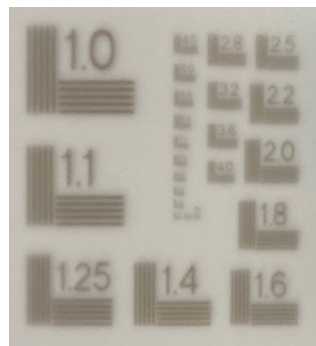


効果

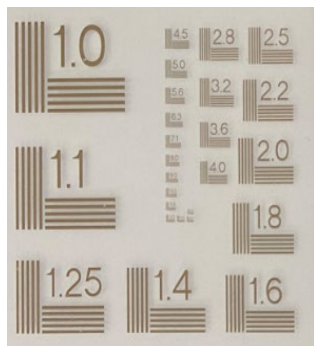
- ▶ **優れた吸油性**
皮脂を吸着し、化粧崩れを防ぐ
- ▶ **なめらかな感触性**
一般的なエアロゲルに比べ感触性に優れる
- ▶ **光の拡散効果 (ソフトフォーカス)**
肌の粗を隠し、肌を美しく見せる
- ▶ **安全性が高い**
安全・環境に対し、
高感度な化粧品メーカーへ訴求可能

効果が評価され、大手化粧品メーカーの高級ラインに採用が決定、来年度より販売

ソフトフォーカス効果



エアリカ®



樹脂ビーズ

シリコン樹脂にエアリカ®と樹脂ビーズを2%添加し、ソフトフォーカス性を比較。ソフトフォーカス（ぼかし）効果が、エアリカの方が高い

処方提案型の
マーケティングに
よりユーザー
開拓・拡販へ

採用例

- ▶ パウダーファンデーション
- ▶ リキッドファンデーション



エアリカ®を処方したサンプル（自社処方）

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 